

収集癖が出てきた…



⇒行為の背景にある気持ちを想像してみましょう

【 認知症の人の状態 】

とよさと病院 認知症疾患医療センター

認知症の人は、他の人にとって不用品としか思えないようなものでも、気に入ると集めて、ため込むことがあります。（公園の落ち葉や小石、空き缶空き瓶、ごみ置き場のごみ、包装紙、新聞紙など）収集癖があっても、周囲が困らないレベルならいいのですが、他人の家の玄関先や庭などに置いてあるものや、スーパーなどの商品を勝手に持ってくることもあるので問題です。

物だけでなく、用事がないのに頻繁に家族や身近な人を呼びつける“人集め行為”をする人もいます。これらの収集行動は、**孤独感や抑制**など、**不安や不快感**によるものだと考えられています。“一人暮らして寂しい思いをしているのではないか”“やりたいことを我慢し続けたからではないか”など、行為の背景にある気持ちを想像してみましょう。

【 対応方法 】

参考文献：杉山孝博, 認知症の9大法則50症状と対応策, 法研, 2013, P130-131

- ①収集行動の原因を考え、孤独ならなるべく話し相手になる、やりたがっていることがあればやってもらい、やりたくないことは強制しないようにするなど、**不安やストレスを軽減**できるようにしましょう。
- ②目についたものを手当たり次第に集める人と、選択して集める人がいますが、いずれも本人にとっては大事なものです。**衛生面、安全面に問題がなく**、ほかの人に差し障りがないときは、そのままにして**様子を見る**のもいいでしょう。
- ③家の中で**持って行かれては困るものは隠し**、持って行っても差し支えないものは、目につくところに置いておきましょう。
- ④集めたものを**処分するときは、本人がいないとき**に行いましょう。ものがなくなったことに気づかれないように、少しずつ減らしていくのがポイントです。
- ⑤台所から食品を持ち出し、部屋にため込む人もいます。不衛生なうえ、消費期限切れのものや、腐敗したものを口にするかもしれないので、**食品の有無は注意深く確認**しましょう。
- ⑥近所の人や行きつけの店などに事情を話しておき、問題があれば、連絡をもらうように**協力をお願い**しましょう。